

# PHILIPS



フィリップス FMラジオドッキングスピーカー

品番 **DC390**

**取扱説明書**

**保証書付**

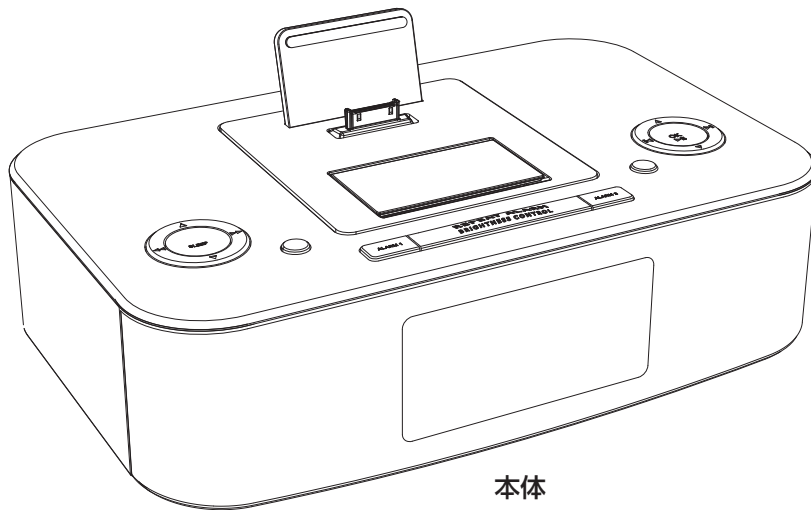
保証書は、この取扱説明書の最終ページについておりますので販売店で記入を受けてください。

フィリップス FMラジオドッキングスピーカーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。長い間ご愛用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

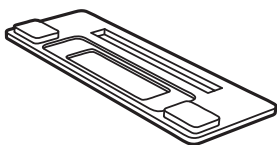
また、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

## 商品のご確認

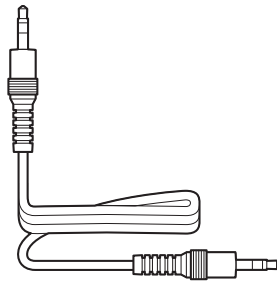
商品をご確認ください



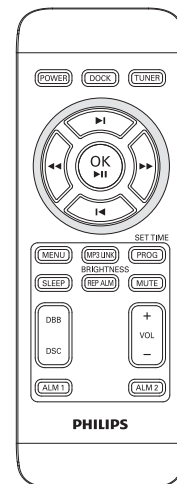
本体



ラバーパッド



オーディオケーブル



リモコン

※改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

# 目次

●はじめに	商品のご確認 ..... 1
	目次 ..... 2
	必ずお守りください ..... 3~5
	接続できるiPod/iPhone/iPad ..... 6
	各部の名称 ..... 7~9
●ご使用方法	リモコンの準備 ..... 10
	本体の準備 ..... 11・12
	電源の入れ方 ..... 13
	音の調節 ..... 14
	iPod/iPhoneの接続／取り外し iPod/iPhone/iPadの充電の仕方 ..... 15
	iPadの接続／取り外し ..... 16
	iPod/iPhone/iPadを使って音楽を聴く ... 17・18
	ラジオを聴く ..... 19・20
	アラームを使う ..... 21・22
	外部機器を使って音楽を聴く ..... 23
	故障かな?と思ったら ..... 24・25
●英文解説	Guidance in English ..... 26~41
●保証	保証とアフターサービス ..... 44
	仕様 ..... 45
	無料修理規定 ..... 46
	保証書 ..... 最終ページ

# 必ずお守り ください

## 安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに想定される内容を「警告」と「注意」とに区別しています。

### ○絵表示について



記号は、「危険、警告、注意」を示します。  
図の中や近くに具体的な注意内容を示します。



**警告** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



**注意** 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

### ○絵表示の例



・記号は、してはいけない「禁止」を示します。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)を示します。



・記号は、必ずしていただく「強制」を示します。図の中や近くに具体的な強制内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと)を示します。



## iPod/iPhone/iPad/その他外部機器との接続時のご注意

誤った取扱いをすると、iPod/iPhone/iPad/その他外部機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。必ず事前にバックアップをしてください。

本製品を使用したことによるデータの破損または消失について、いかなる場合においても当社では責任を負いかねます。データの復元、再インストール、損失補償などはいたしません。また、他社の機器に対する保証や修理も一切行っておりません。あらかじめご了承ください。



## 警告



煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときはコンセントから電源コードを抜く。

そのまま使用すると、事故の原因になります。必ず使用を中止し、お買い上げの販売店または小泉成器修理センターにご相談ください。



本製品の内部に金属物や燃えやすいものを入れない。

事故や故障の原因となります。



分解・修理・改造をしない。

事故や故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器修理センターに修理をご依頼ください。



水の近くで使用しない、水にぬらさない。

本製品に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。事故や故障の原因となります。

## 警告



**雷が鳴ったら本体や電源プラグ部に触らない。**

感電の原因となります。



**ぬれた手で電源プラグ部の抜き差しをしない。**

感電の原因となります。



**電源コードの破損に注意する。**

電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない。電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。



**電源プラグ部は確実に差し込む。**

差し込みが不完全な場合、感電・発火の原因となります。



**電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。**

感電・ショート・発火の原因となります。



**電源プラグ部のほこりや汚れを取る。**

ほこりや汚れがたまると、火災の原因となります。電源プラグ部を抜き、やわらかい乾いた布でふいてください。



**長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグ部を抜く。**

長期間通電した状態で保管したり放置すると、絶縁劣化や漏電などにより火災の原因となります。



**本体内の電池やリモコンの電池が消耗した場合、すぐに交換する。**

放置すると電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。また、長期間使用しない場合は電池を取り出してください。



**自動車など乗り物の運転中は使用しない。**

運転の妨げになり事故の原因となります。

## 注意



**置く場所に注意する。**

油煙や湯気が当たる場所に置かない。温度が高くなる場所や、熱を発生する機器のそばに置かない。直射日光の当たる高温の自動車内に置かない。湿度やほこりの多い場所に置かない。事故や故障の原因となります。



**不安定な場所の上に置かない。**

ぐらつく台や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。



**本体の上に物を載せない。**

重量で外装が変形したり破損するなど、故障の原因となることがあります。また、載せた物が落下したり倒れたりし、事故や故障の原因となることがあります。



**お手入れは、やわらかい乾いた布でふく。**

水や液体洗剤、シンナー、ベンジンなどを使わないでください。



## 大音量で使用しない

### 「適切な音量」に設定する。

「音」は感覚的なものなので、あてになりません。時間とともに、聴覚の「快適なレベル」は大音量に順応してしまいます。長時間聴いていると「普通」だと思っている音が、聴覚にとっては大音量で害のあるものになっている可能性があります。これを防ぐため、下記のように聴覚が大音量に順応する前に音量を安全なレベルに設定してください。

## 「適切な音量」の設定方法

- 1 音量を最小に設定してください。(P.14「音の調節」の項をお読みください。)
- 2 音がゆがみなくはっきりと快適に聞こえるまで「ゆっくりと」音量を上げてください。
- 3 耳が疲れない程度の適度な音量と使用時間で聴いてください。



### 注意

- 一般的に「安全な」音量であっても、長時間・長期にわたって音を聴き続けた場合、聴力障害を引き起こすことがあります。
- 本製品は適度に使用し、長時間連続で使用せず、必ず休憩を取るようになしてください。
- 聴覚が順応するままに、音量を上げないよう気をつけてください。
- 周囲の音が聞こえなくなるほど音量を上げないでください。

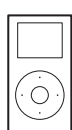
30ピンDockコネクタを持つ以下の  
iPod/iPhone/iPadに対応しています。

(2011年10月現在)

接続できる  
iPod/iPhone/iPad

Made for

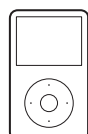
 iPod  iPhone  iPad



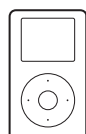
iPod mini



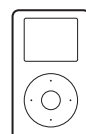
iPod nano  
1G~6G



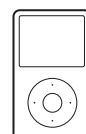
iPod classic  
(80/120/160GB)



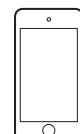
iPod photo



iPod 4G



iPod 5G video  
(30/60/80GB)



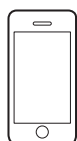
iPod touch  
1G~4G



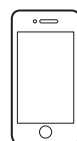
iPhone 2G



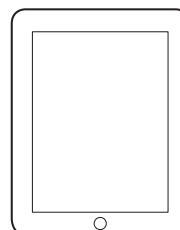
iPhone 3G



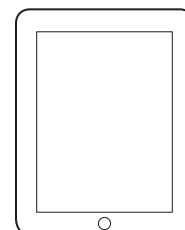
iPhone 3GS



iPhone 4



iPad



iPad 2

- 「Made for iPod/iPhone/iPad」とは、iPod、iPhone、iPad専用に対応するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
- Apple Inc.は、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- iPod mini、iPod nano、iPod classic、iPod photo、iPod、iPod touch、iPadは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 日本におけるiPhoneの商標はアイホン株式会社のライセンスに基づきApple Inc.が使用しています。



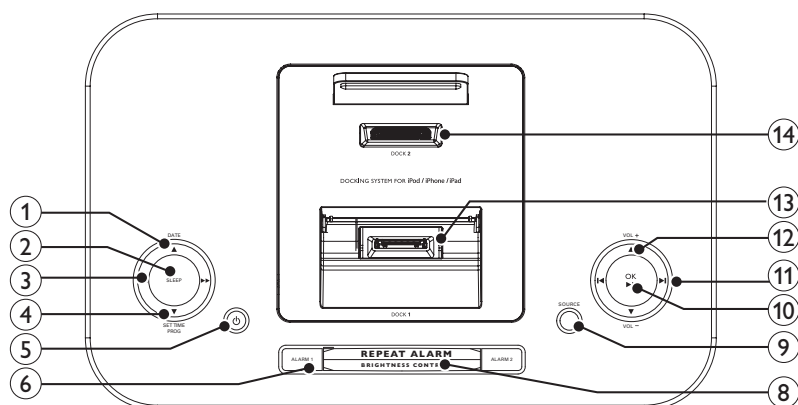
### 注意

- iPod 4G、iPod classic (80/120/160GB)、iPod 5G video (30/60/80GB)はDock充電に対応していません。
- 対応以外のiPod/iPhone/iPadを本製品に接続しないでください。本製品で対応していないiPod/iPhone/iPadの動作は保証していません。
- 対応しているiPod/iPhone/iPadでも、ソフトウェアのバージョンが古い場合は本製品で操作できないことがあります。その場合はソフトウェアのバージョンアップを行ってください。
- iPod/iPhone/iPad本体の操作方法やソフトウェアのバージョンアップ方法は各製品に付属している説明書などをお読みください。
- 機種やソフトウェアのバージョンによって異なる動作や表示などを行う場合がありますが、基本的な音楽再生の利用には支障ありません。

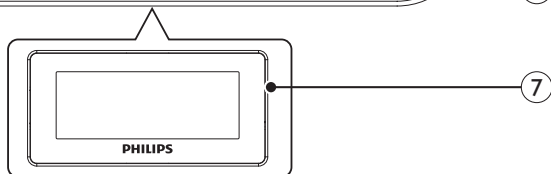
# 各部の名称

## 本体

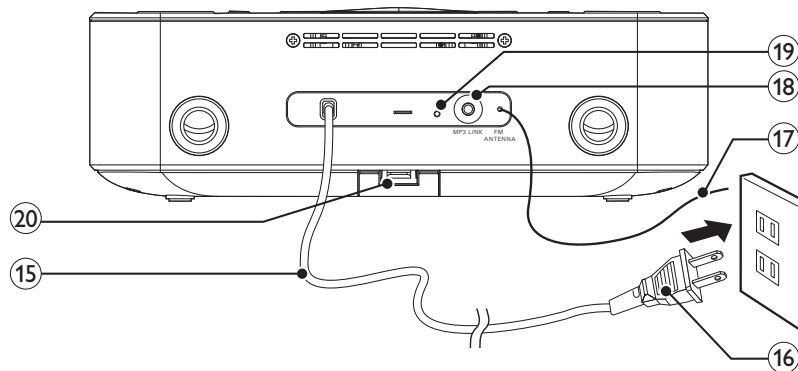
上面



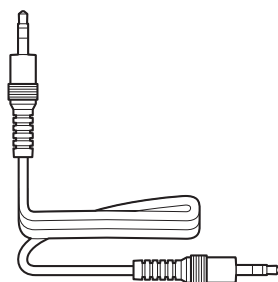
前面



背面



## オーディオケーブル





① ▲ / DATEボタン

- 1回押すと、西暦→月日の順で「表示パネル」に数秒間、表示します。

② SLEEPボタン

- スリープタイマーを設定します。
- スリープタイマーを設定するには、SLEEPボタンを押し、希望する時間(120/90/60/30/15分)に合わせます。約2~3秒後に「zzz」のマークが左上に表示され、確定します。設定した時間になると、スタンバイモードになります。

③ ◀▶ ボタン

- 音楽再生中に長押しすると早送り・巻き戻しができます。
- FMラジオの周波数を合わせる時に使用します。

④ ▼ / SET TIME / PROGボタン

- 時刻、日付を設定します。
- FMラジオ局を設定する時に使用します。

⑤ ON/OFFスイッチ

- 本体の電源を入れる時や、スタンバイモードに切り替える時に使用します。
- スリープタイマーを止める時に使用します。
- アラームを止める時に使用します。

⑥ ALARM1/ALARM2ボタン

- アラームタイマーを設定する時に使用します。
- アラーム音を止める時に使用します。
- アラーム設定を表示します。

⑦ 表示パネル

- 日時や再生状況、アラームの設定・使用時など、本体の状態を表示します。

⑧ REPEAT ALARM / BRIGHTNESS CONTROLボタン

- アラームを繰り返す時に使用します。
- 表示パネルの明るさを4段階で切り替えられます。

⑨ SOURCEボタン

- 音源を選択する時に使用します。音源は、DOCK1、DOCK2、TUNER (FMラジオ)、MP3-L (外部機器)の順に切り替えられます。

⑩ OK/▶||ボタン

- iPod/iPhone/iPadの再生と一時停止ができます。
- FMラジオ再生時に、ステレオとモノラルを切り替えます。
- 選択を確定します。

⑪ ◀▶ ボタン

- iPod/iPhone/iPadの再生時は、前後の曲にスキップします。
- 設定したFMラジオ局を選択する時に使用します。
- 時刻の設定時に使用します。

⑫ VOL+/VOL-ボタン

- 「VOL+」ボタンで音量が大きくなり、「VOL-」ボタンで音量が小さくなります。


⑬ DOCK1コネクタ端子

- iPod/iPhoneを接続する端子です。カバーが付いているので、開けてお使いください。

⑭ DOCK2コネクタ端子

- iPod/iPhone/iPadを接続する端子です。

⑮ 電源コード

	<b>注意</b> ●本製品の電源コードは取り外しできません。 電源コードを引っ張らないでください。
---	--

⑯ 電源プラグ部

⑰ FM アンテナケーブル

- FMラジオの受信感度が悪い場合、ケーブルの位置を調整してください。

⑱ MP3 LINK端子

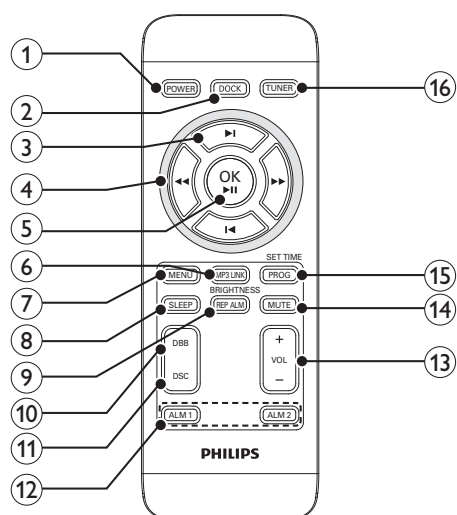
- 付属のオーディオケーブルを差し込み、外部機器を使って音楽を聴くことができます。

⑲ BUZZER (ブザー)

- アラームタイマーでBUZZERを設定するとビープ音が鳴ります。

⑳ 電池ホルダーカバー

## リモコン



### ① ON/OFFスイッチ

- 本体の電源を入れる時や、スタンバイモードに切り替える時に使用します。
- スリープタイマーを止める時に使用します。
- アラームを止める時に使用します。

### ② DOCKボタン

- 音源をDOCK 1、DOCK 2に切り替えられます。

### ③ ◀/▶ボタン

- iPod/iPhone/iPadの再生時は、前後の曲にスキップします。
- iPod/iPhone/iPadのメニューを移動する時に使います。
- 設定したFMラジオ局を選択する時に使用します。
- 時刻の設定時に使用します。

### ④ ◀◀/▶▶ ボタン

- 音楽再生中に長押しすると早送り・巻き戻しができます。
- FMラジオの周波数を合わせる時に使用します。

### ⑤ OK/▶|| ボタン

- iPod/iPhone/iPadの再生と一時停止ができます。
- FMラジオ再生時に、ステレオとモノラルを切り替えます。

- 選択を確定します。

### ⑥ MP3 LINKボタン

- 音源をMP3-L (外部機器)に切り替えられます。

### ⑦ MENUボタン

- iPodメニューの操作で使用します。

### ⑧ SLEEPボタン

- スリープタイマーを設定します。

### ⑨ BRIGHTNESS/REP ALMボタン

- 表示パネルの明るさを4段階で切り替えられます。
- アラームを繰り返す時に使用します。

### ⑩ DBBボタン

- DBB (Dynamic bass boost) 機能をON/OFFできます。DBB機能をONにすると、低音が強調され、音量が小さい時も迫力のある音を楽しめます。

### ⑪ DSCボタン

- ROCK、JAZZ、POP、CLASSIC、FLATの5つの音響効果から選択できます。

### ⑫ ALARM1/ALARM2ボタン

- アラームタイマーを設定する時に使用します。
- アラーム音を止める時に使用します。
- アラーム設定を表示します。

### ⑬ VOL+/VOL-ボタン

- 「VOL+」ボタンで音量が大きくなり、「VOL-」ボタンで音量が小さくなります。

### ⑭ MUTEボタン

- 消音と、消音の解除ができます。

### ⑮ SET TIME/PROGボタン

- 時刻、日付を設定します。
- FMラジオ局を設定する時に使用します。

### ⑯ TUNERボタン

- 音源をTUNER (FMラジオ)に切り替えられます。

# リモコンの準備



## 警告

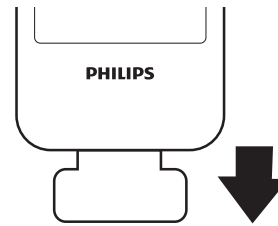
電池の液漏れ・発熱・破裂防止のために、次のことをお守りください。

- 電池を熱源、直射日光、裸火に近づけない。
- 電池を火の中に捨てない。
- 電池が消耗した場合、すぐに交換する。
- 長期間使用しない場合は電池を取り出す。
- 電池の「+」は正しい向きで入れる。

また、ご使用済みの電池は、各自治体の処理方法に従い廃棄してください。

## 初めて使用するとき

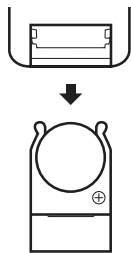
絶縁シートを取り除いてからお使いください。



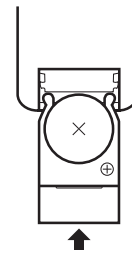
## リモコンの電池を交換するとき

電池が消耗すると、リモコンは正常に動作しなくなったり、動作距離が短くなります。その場合は新しいリチウム電池「CR2025」と交換してください。

1 電池ホルダーを引き抜きます。

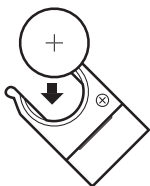


3 電池ホルダーをリモコンに取り付けます。



※電池ホルダーを確実に差し込んでください。

2 電池ホルダーに新しいリチウム電池「CR2025」を入れます。



リチウム電池「CR2025」  
※電池を入れる時は「+」を上にしてください。

# 本体の準備

## 電池を入れる

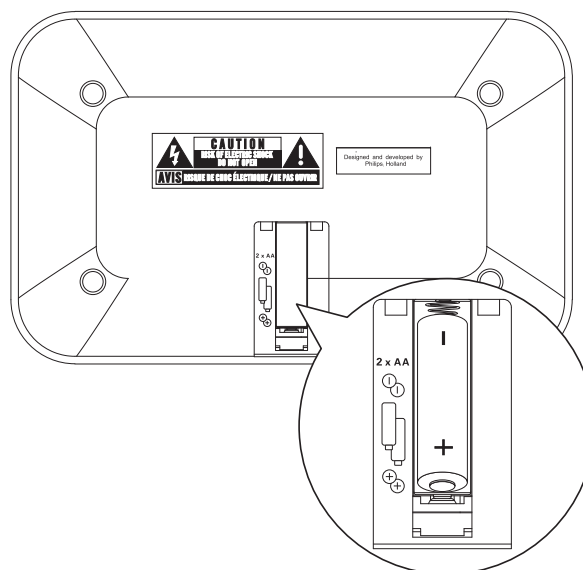
本体に電池を入れると、停電時や、コンセントから電源プラグ部を一時的に抜いた場合も時刻やアラームなどの各設定が残ります。

電源を抜いて本体を他の場所に移動したい場合などは、電池を入れておくことをおすすめします。

※長時間にわたって電源が切断された場合は、設定が消えることがあります。

1 本体底の電池ホルダーカバーのツメを引き上げて、電池ホルダーカバーを取り外します。

2 電池ホルダーに、単3形乾電池を2本入れ、電池ホルダーを閉じます。



### 単3形乾電池2本

※乾電池を入れる時は「+」の向きを電池ホルダーに書いてあるイラストの向きと合わせてください。

電池は本体動作用ではありません。



### 注意

- 本製品は、コンセントに電源プラグ部を差し込んで動作します。本体に入れる電池（付属していません）は時刻やアラームなど、各設定のバックアップ用です。電池だけでは動作しません。
- 本製品は電池を入れなくても動作しますが、電源が切断された時に各設定が消去されます。



### 警告

電池の液漏れ・発熱・破裂防止のために、次のことをお守りください。

- 電池を熱源、直射日光、裸火に近づけない。
- 電池を火の中に捨てない。
- 電池が消耗した場合、すぐに交換する。
- 長期間使用しない場合は電池を取り出す。
- 新しい電池と古い電池、異なった種類は混ぜない。
- 電池の「+」は正しい向きで入れる。

また、ご使用済みの電池は、各自治体の処理方法に従い廃棄してください。

## 時刻と日付を設定する

iPod/iPhone/iPadをDOCKに接続すると、数秒後に自動的に時刻と日付を同期します。

また、下記のように手動で設定することもできます。

- 1 ON/OFFスイッチを押して、スタンバイモードにします。  
※時刻と日付設定前のスタンバイモードは、表示パネルに「-- : --」のみ点滅します。設定後のスタンバイモードは、表示パネルに日付が表示されます。
- 2 SET TIMEボタンを約2秒間押し、時刻表示が点滅し、OK/▶|| ボタンを押すと12時間表示と24時間表示を切り替えられます。  
※12時間表示では日付表示部に[月--日]と表示され、24時間表示では日付表示部に[日--月]と表示されます。
- 3 ◀/▶ ボタンを押して「時間」を調整し、SET TIMEボタンを押して確定します。
- 4 同じように◀/▶ ボタンを押して調整し、SET TIMEボタンを押して確定を繰り返し、分、年、月、日をそれぞれ設定します。

### 時刻と日付設定の流れ

#### スタンバイモード

- ↓ SET TIMEボタン約2秒  
※OK/▶|| ボタンで12時間表示と24時間を切り替え

#### 「時間」設定

- ↓ SET TIMEボタン

#### 「分」設定

- ↓ SET TIMEボタン

#### 「年」設定

- ↓ SET TIMEボタン

#### 「月」設定

- ↓ SET TIMEボタン

#### 「日」設定

- ↓ SET TIMEボタン

#### 設定完了



### 注意

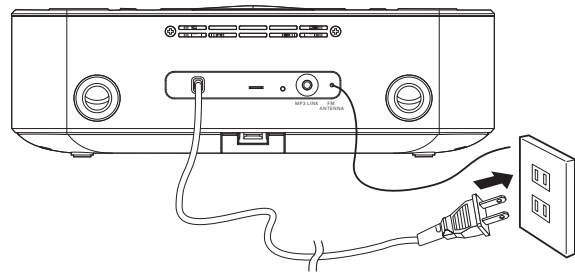
- iPod/iPhone/iPadを同期した場合、iPod/iPhone/iPad側の時刻と同じように表示されます。
- 手動で時刻と日付を変更すると、iPod/iPhone/iPadを接続しても時刻と日付は同期しません。再び同期するには、本体の設定をリセットしてください。
- 本体の電池を取り外し、電源プラグをコンセントから抜くと、本体の時刻と日付設定をリセットできます。

# 電源の入れ方

## コンセントにつなげる

海外(100~240V)でのご使用も可能です。ただし、コンセントの形状や電圧など現地で充分お確かめのうえでご使用ください。

- 1 ご家庭のコンセントに電源プラグ部を差し込みます。
- 2 コンセントにつなげると、スタンバイモードになります。



### 注意

- 長期間使用しない場合は、コンセントから電源プラグ部を抜いてください。
- コンセントから抜く時は、電源プラグ部を持って引き抜いてください。絶対に電源コードを引っ張らないでください。
- 本製品の電源コードは取り外しできません。電源コードを引っ張らないでください。

## スタンバイモードへの切り替えと解除

- 1 スタンバイモードに切り替えるには、本体またはリモコンのON/OFFスイッチを押します。  
※時刻と日付設定前のスタンバイモードは、表示パネルに「-- : --」のみ点滅します。設定後のスタンバイモードは、表示パネルに日付が表示されます。
- 2 スタンバイモードを解除するには、本体またはリモコンのON/OFFスイッチを押します。スタンバイモードを解除すると、最後に選択した音源に切り替わります。  
※本体のSOURCEボタン、またはリモコンのDOCKボタン、TUNERボタン、MP3 LINKボタンを押した場合もスタンバイモードを解除できます。

# 音の調節

## 音量の調節

- 再生中に本体またはリモコンのVOL+/VOL-ボタンを押し、「VOL+」ボタンで音量が大きくなり、「VOL-」ボタンで音量が小さくなります。
- 「VOL-」ボタンを押し続けると音量が下がり続け、無音になった時に本体の表示パネルに「V--00」と表示されます。
- 「VOL+」ボタンを押し続けると音量が上がって続け、最大音量になった時に本体の表示パネルに「V--32」と表示されます。

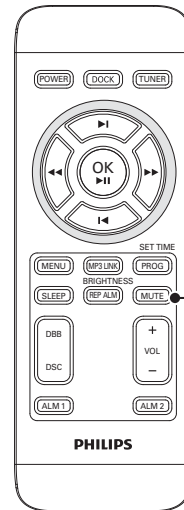


### 注意

- 音量の上げすぎにはご注意ください。  
(P5「『適切な音量』の設定方法」の項をお読みください。)

## 消音する

- 再生中にリモコンのMUTEボタンを押して、消音します。
- 消音時にMUTEボタンを押すと、消音を解除できます。
- ※ 「VOL-」ボタンを押し続けて無音になった場合、MUTEボタンを押しても音が出ません。その場合は「VOL+」ボタンを押して音量を上げてください。



## 低音を強化する

- 再生中にリモコンのDBBボタンを押すと「Dynamic bass boost」機能がON/OFFできます。
- DBB機能がONの時は、表示パネルに「DBB」マークが表示されます。
- DBB機能をONにすると、低音が強調され、音量が小さい時も迫力のある音を楽しめます。

## 音響効果を選ぶ

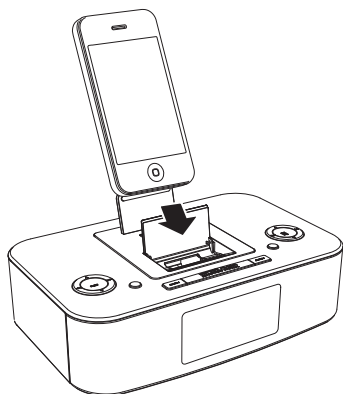
- 再生中にリモコンのDSCボタンを押すと、ROCK、JAZZ、POP、CLASSIC、FLATの5つの音響効果から選択できます。
- 標準の音はFLATです。お好みでROCK、JAZZ、POP、CLASSICの音響効果をお楽しみください。

## iPod/iPhoneの 接続／取り外し

### 【接続する】

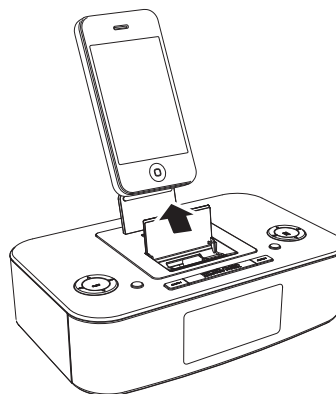
DOCK1コネクタ端子またはDOCK2コネクタ端子に、iPod/iPhoneのDOCKコネクタを差し込みます。

※無理な力を加えず角度を合わせてまっすぐに差し込んでください。角度が合っていない状態で無理に差し込むと故障の原因となります。



### 【取り外す】

iPod/iPhoneを上につき抜きます。



### 注意

- iPod/iPhoneの接続や取り外しはゆっくりと行ってください。
- 長時間使用しない場合は、iPod/iPhoneを本製品から取り外してください。

## iPod/iPhone/iPadの 充電の仕方

- 1 電源を入れた状態(P.13「電源の入れ方」)でiPod/iPhone/iPadを本体に接続すると、充電を開始します。  
※iPodの機種によっては、充電表示が現れるまで1分以上かかることがあります。  
※iPadはDOCK 2コネクタ端子に接続してください。DOCK 1コネクタ端子では使用できません。  
※iPod 4G、iPod classic (80/120/160GB)、iPod 5G video (30/60/80GB)はドック充電に対応していません。
- 2 充電完了後、iPod/iPhone/iPadを長時間使用しない場合は、iPod/iPhone/iPadを本体から取り外してください。

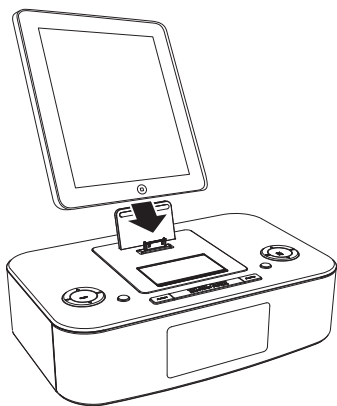


## iPadの 接続／取り外し

### [接続する]

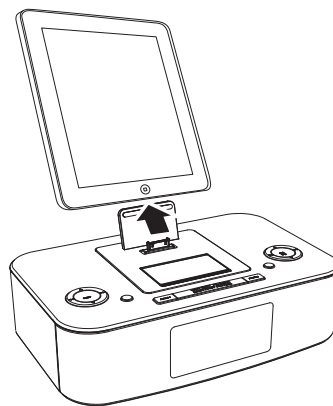
DOCK2コネクタ端子に、iPadのDOCKコネクタを差し込みます。

※無理な力を加えず角度を合わせてまっすぐに差し込んでください。角度が合っていない状態で無理に差し込むと故障の原因となります。



### [取り外す]

iPadを上引き抜きます。

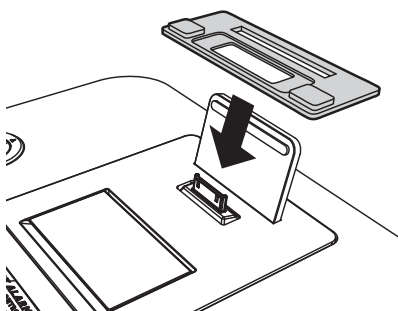


### 注意

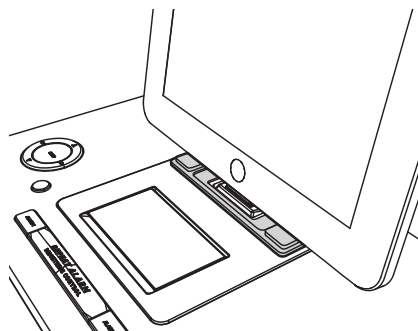
- iPadの接続や取り外しはゆっくりと行ってください。
- 長時間使用しない場合は、iPadを本製品から取り外してください。
- iPadはDOCK2コネクタ端子に接続してください。DOCK1コネクタ端子では使用できません。

## ラバーパッドを装着する

- 1 付属のラバーパッドは、図のようにDOCK2コネクタ端子に装着します。



- 2 ラバーパッドを装着すると、より安定してiPad2を接続することができます。



# iPod/iPhone/iPadを 使って音楽を聴く

iOS搭載機種と搭載していない機種では、操作方法、リモコン操作時の動作が異なります。



## 注意

- 機種やソフトウェアのバージョンによって異なる動作や表示などを行う場合がありますが、基本的な音楽再生の利用には支障ありません。
- iPod/iPhone/iPad本体の操作方法などは各製品に付属している説明書などを、お読みください。

## iOS搭載機種

- iPod touch 1G~4G
- iPhone 2G
- iPhone 3G
- iPhone 3GS
- iPhone 4
- iPad
- iPad 2

- 1 iPod/iPhone/iPadを本体に接続します。
- 2 本体のSOURCEボタン、またはリモコンのDOCKボタンを押し、iPod/iPhone/iPadを接続した方のDOCKを選択します。
- 3 iPod/iPhone/iPadを操作してiPodアプリを起動します。
- 4 下記の3つの方法で操作します。

### 【iPod/iPhone/iPadで直接操作する場合】

本体に接続した状態で、iPod/iPhone/iPadを直接操作して音楽を聴くことができます。

※接続時、音量の調整をiPod/iPhone/iPadから行うことはできません。本体またはリモコンの音量ボタンで操作してください。

### 【本体側で操作する場合】

【OK/▶|| ボタン】再生と一時停止ができます。

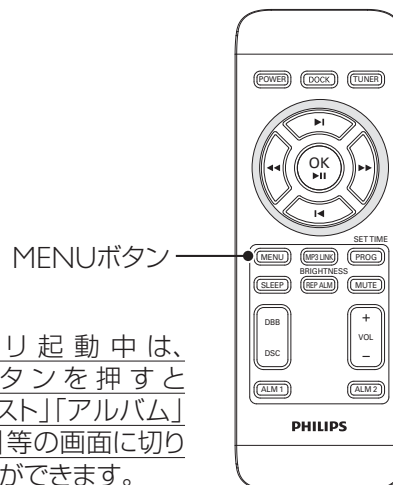
【◀/▶ ボタン】前後の曲にスキップします。

【VOL+/VOL-ボタン】「VOL+」ボタンで音量が大きくなり、「VOL-」ボタンで音量が小さくなります。

【◀◀/▶▶ ボタン】音楽再生中に長押しすると早送り・巻き戻しができます。

### 【リモコンで操作する場合】

リモコンで任意のボタンを操作します(P.9)。



## iOSを搭載していない機種

- iPod mini
- iPod nano 1G~6G
- iPod classic (80/120/160GB)
- iPod photo
- iPod 4G
- iPod 5G video (30/60/80GB)

- 1 iPodを本体に接続します。
- 2 本体のSOURCEボタン、またはリモコンのDOCKボタンを押し、iPodを接続した方のDOCKを選択します。
- 3 下記の3つの方法で操作します。

### 【iPodで直接操作する場合】

本体に接続した状態で、iPodを直接操作して音楽を聴くことができます。

※接続時、音量の調整をiPodから行うことはできません。本体またはリモコンの音量ボタンで操作してください。

### 【本体側で操作する場合】

【OK/▶|| ボタン】再生と一時停止ができます。

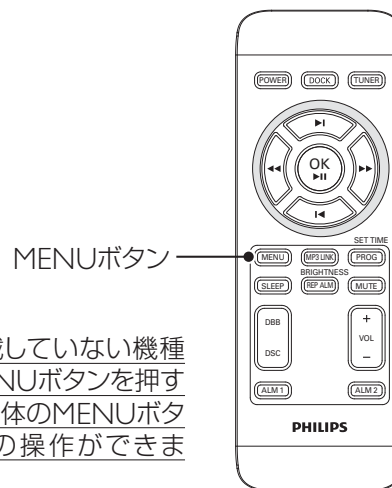
【◀/▶ ボタン】前後の曲にスキップします。

【VOL+/VOL-ボタン】「VOL+」ボタンで音量が大きくなり、「VOL-」ボタンで音量が小さくなります。

【◀◀/▶▶ ボタン】音楽再生中に長押しすると早送り・巻き戻しができます。

### 【リモコンで操作する場合】

リモコンで任意のボタンを操作します(P.9)。



iOSを搭載していない機種では、MENUボタンを押すと、iPod本体のMENUボタンと同様の操作ができます。

※iOSを搭載していない機種の場合、iPodの「再生中」画面以外では本体やリモコンの【◀◀/▶▶ ボタン】を押しても早送り・巻き戻しができません。iPodが「再生中」画面の時のみ【◀◀/▶▶ ボタン】を押して早送り・巻き戻しができます。または、iPodを直接操作すると早送り・巻き戻しができます。

## ラジオを聴く



### 注意

- 本製品はFMラジオのみ受信できます。
- 本体とアンテナは、テレビやビデオ、携帯電話などの電磁波を発する製品から、なるべく離してお使いください。電磁波が干渉し、ラジオの受信感度を低下させる原因となります。
- 受信状態を最良にするために、アンテナを完全に伸ばし、位置を調節してください。

### ラジオ局の周波数を合わせる

- 1 本体のSOURCEボタン、またはリモコンのTUNERボタンを押し、音源をTUNERに切り替えます。
- 2 ◀▶ ボタンまたは ▶▶ ボタンを2秒以上押し、指を離すと表示パネルに「SRCH」と表示され、電波の強いラジオ局に自動的に周波数を合わせます。
- 3 上記を繰り返し、他のラジオ局の周波数を合わせることができます。

### ステレオモードとモノラルモードを切り替える

- 1 本体のSOURCEボタン、またはリモコンのTUNERボタンを押し、音源をTUNERに切り替えます。
- 2 OK/▶|| ボタンを押すたびに、ステレオモードまたはモノラルモードに切り替えられます。初期設定はステレオモードです。

## 自動でラジオ局を設定する

最大20のラジオ局を設定することができます。

- 1 本体のSOURCEボタン、またはリモコンのTUNERボタンを押し、音源をTUNERに切り替えます。
- 2 SET TIME/PROGボタンを2秒以上押し、自動プログラムモードを起動します。
- 3 表示パネルには「AUTO」と表示され、自動的に受信感度の高いラジオ局が保存されます。
- 4 自動プログラムモードが終了すると、最初にプログラムされたラジオ局を自動的に受信し、聴くことができます。

## 手動でラジオ局を設定する

最大20のラジオ局を設定することができます。

※上記、自動でラジオ局を設定した場合も含めて、最大20となります。

- 1 本体のSOURCEボタン、またはリモコンのTUNERボタンを押し、音源をTUNERに切り替えます。
- 2 ラジオ局を受信します (P.19「ラジオ局の周波数を合わせる」)。
- 3 SET TIME/PROGボタンを押し、手動プログラムモードを起動します。
- 4 ◀ボタンまたは▶ボタンを押し、プログラムの番号を選びます。
- 5 SET TIME/PROGボタンを押し、確認すると、プログラムに受信中のラジオ局が設定されます。  
※プログラムしたラジオ局を上書きするには、上記「4」で上書きしたいプログラムの番号を選び、そこに他のラジオ局を設定します。

## 設定したラジオ局を受信する

◀ボタンまたは▶ボタンを押し、設定したラジオ局を選択します。

# アラームを使う

ALARM1とALARM2に、それぞれ異なるアラームタイマーを設定できます。



## 注意

- アラームの使用前に、時刻が正しく設定されていることを確認してください。(P.12「時刻と日付を設定する」)

## アラームタイマーを設定する

- 1 本体かリモコンの、ALARM1ボタンまたはALARM2ボタンを約2秒押し続けると、表示パネルの「AL1」または「AL2」が点滅します。  
※以下、ALARM1の設定を例に説明します。
- 2 本体のSOURCEボタンを押し、DOCK1、DOCK2、TUNER、BUZZER (ブザー)からアラームの音源を選びます。選択中の音源のアイコンが左側に点滅するので、ALARM1ボタンを押して確定します。  
※iTunesで「PHILIPS」というプレイリストを作成しiPod/iPhoneに入れておくと、アラーム音源として使用することができます。  
※iPod/iPhoneに「PHILIPS」プレイリストがない場合や、プレイリストに曲が入っていない場合、iPod/iPhone内の曲を自動選曲し音源に使用します。
- 3 音源を確定すると「時」が点滅し、◀/▶ボタンで選択し、ALARM1ボタンで確定します。
- 4 「時」を確定すると「分」が点滅し、◀/▶ボタンで選択し、ALARM1ボタンで確定します。
- 5 「分」を確定すると「曜日」が全て点滅し、◀/▶ボタンで「毎日」「平日のみ」「土日のみ」から選択し、ALARM1ボタンで確定します。
- 6 「曜日」を確定すると「VOL(音量)」が点滅し、◀/▶ボタンで「VOL--00」から「VOL--32」までアラームの音量を設定し、ALARM1ボタンで確定します。

## アラームタイマー 設定の流れ

↓ ALARMボタン約2秒

### 「音源」設定

↓ ALARMボタン

### 「時」設定

↓ ALARMボタン

### 「分」設定

↓ ALARMボタン

### 「曜日」設定

↓ ALARMボタン

### 「VOL(音量)」設定



↓ ALARMボタン

### 設定完了

※ALARMボタンは、はじめに約2秒押し続けた「ALARM1」か「ALARM2」のいずれかが、その後の確定ボタンとなります。

## アラームタイマーの起動、停止、繰り返し、アラーム音の停止、確認

### 【アラームタイマーのON/OFF】

- アラームタイマーONの時は  AL1または  AL2と表示されます。
- タイマーOFFの時はAL1またはAL2と表示されます。
- ON/OFFを切り替えるには、ALARM1ボタンまたはALARM2ボタンを押します。



### 【アラーム設定の確認】

- ALARM1ボタンまたはALARM2ボタンを押すと、アラーム設定の内容が表示パネルに表示されます。

### 【アラームタイマーの繰り返し(TUNER、BUZZERのみ)】

- アラーム音が鳴っている時、REPEAT ALARM/BRIGHTNESS CONTROLボタンを押すと、数分後にアラーム音を繰り返します。
-  /  ボタンでアラームタイマーを繰り返す間隔を変更できます。

### 【アラーム音の停止】

- TUNER、BUZZERの場合：アラーム音が鳴っている時、設定した方のALARMボタン・ON/OFFスイッチを押すと、アラーム音が停止します。
  - iPod/iPhone/iPadの場合：OK/   ボタン・ON/OFFスイッチを押すと、アラーム音が停止します。
- ※アラーム音は停止しますが、設定はそのままなので、また設定した時間になるとアラームが鳴ります。

## 外部機器を 使って音楽を聴く

付属のオーディオケーブルを使って iPod/iPhone/iPad以外の外部機器を接続することができます。



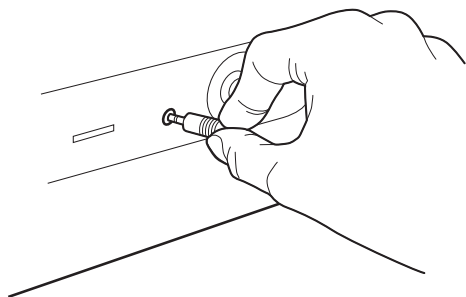
### 注意

- 音量は、接続する外部機器に左右されます。出力の大きい外部機器に接続すると音量が大きく、出力の小さい外部機器に接続すると音量が小さくなります。使用する外部機器の出力に応じて、適切な音量に調節してください。
- 外部機器の出力によっては、大音量が出ることがあります。接続する前に、あらかじめ外部機器の音量は小さくしてください。

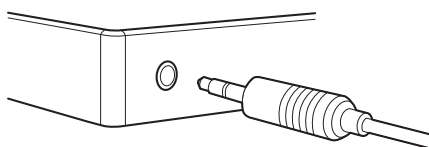
### 【接続できる外部機器】

- 3.5mmステレオミニプラグの出力端子を持つ製品  
(デジタルオーディオプレイヤー、テレビ、パソコンなど)

- 1 接続する外部機器の音量をあらかじめ小さくしておきます。
- 2 本製品のMP3 LINK端子に、付属のオーディオケーブルを差し込みます。
- 4 本体のSOURCEボタンかリモコンのMP3 LINKボタンを押し、MP3-Lモードに切り替えます。
- 5 接続した外部機器の再生を開始し、外部機器と本製品の音量を調節します。



- 3 オーディオケーブルのもう一方を、接続する外部機器の出力端子に差し込みます。



### 【外部機器を取り外す】

外部機器の再生を停止し、電源を切ってからオーディオケーブルを取り外します。



故障かな?と思ったら、お調べください。

## 故障かな? と思ったら

### 電源が入らない

- ▶ **電源プラグはきちんと差し込まれていますか?**  
電源プラグがコンセントにきちんと差し込まれていますか?確認してください。
- ▶ **コンセントが通電していますか?**  
コンセントが通電しているか確認してください。
- ▶ **電源コードが断線していませんか?**  
ご使用を中止し、お買い求めの販売店へ修理をご依頼ください。

### 本体からの反応がない

- ▶ **本体の電源を入れなおしてください。**  
電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで本体の電源を入れなおしてください。

### リモコンで操作できない

- ▶ **リモコンの電池が切れていませんか?**  
新しい電池に取り替えてください。P.10「リモコンの準備」の項をお読みください。
- ▶ **電池が逆方向に入っていないですか?**  
「+」を上にして入れてください。
- ▶ **電池ホルダーがリモコンにしっかりと取り付けられていますか?**  
電池ホルダーは、確実にリモコンに差し込んでください。

### ラジオの受信感度が悪い

- ▶ **近くに電磁波を発する製品がありませんか?**  
本体とアンテナは、テレビやビデオ、携帯電話などの電磁波を発する製品から、なるべく離してお使いください。電磁波が干渉し、ラジオの受信感度を低下させる原因となります。
- ▶ **アンテナの伸ばし方を調節してください。**  
受信状態を最良にするために、アンテナを完全に伸ばし、位置を調節してください。
- ▶ **ラジオ局の聴取エリア外ではないですか?**  
ラジオ局の聴取エリアをご確認ください。

## 音が聞こえない

### ▶電源が入っていますか？

電源プラグがきちんと差し込まれているか、コンセントが通電しているか確認してください。

### ▶音量が最小になっていませんか？

本体またはリモコンのVOL+/VOL-ボタンで調節してください。

### ▶消音になっていませんか？

リモコンのMUTEボタンを押して消音を解除してください。

## 【iPod/iPhone/iPadを使って聴く場合】

### ▶iPod/iPhone/iPadが正しく接続されていますか？

iPod/iPhone/iPadが本体のDOCKコネクタ端子にきちんと差し込まれているか確認してください。

### ▶iPod/iPhone/iPadに正しいデータが入っていますか？

iPod/iPhone/iPadで再生可能な正しいデータが入っているか確認してください。  
正しいデータ形式やデータの入れ方は、各製品に付属している説明書などをお読みください。

## 【外部機器を使って聴く場合】

### ▶オーディオケーブルが正しく接続されていますか？

オーディオケーブルが外部機器と本製品の両方にきちんと差し込まれているか確認してください。

### ▶外部機器から音声が出力されていますか？

外部機器から音声が出力されていないと、本製品から音が出ません。  
外部機器の音声出力の方法は、各製品に付属している説明書などをお読みください。

### ▶外部機器の音量が最小になっていませんか？

外部機器の音量を調節してください。

## アラームタイマーが作動しない

### ▶時刻は正しく設定されていますか？

時刻を正しく設定してください。P.12「本体の準備」の項をお読みください。

### ▶アラームタイマーが停止していませんか？

アラームタイマーを起動してください。P.21「アラームを使う」の項をお読みください。

## 時刻やアラームタイマーの設定が消えた

### ▶電源が切断されていませんか？

電源が切断されていないか、電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているかご確認ください。

### ▶本体内の電池が切れていませんか？

新しい電池に取り替えてください。P.11「本体の準備」の項をお読みください。

### ▶本体の電源を入れなおしてください。

電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで本体の電源を入れなおしてください。

以上の点検により、正常な状態に戻らない場合は、  
お買い求めの販売店かフィリップスサポートセンターにお問い合わせ願います。

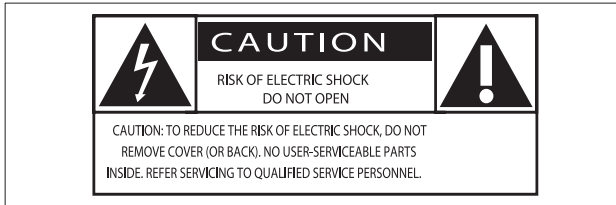
**DC390**

**ENGLISH**

# 1 Important

## Safety

Know these safety symbols



This 'bolt of lightning' indicates uninsulated material within your unit may cause an electrical shock. For the safety of everyone in your household, please do not remove product covering.

The 'exclamation mark' calls attention to features for which you should read the enclosed literature closely to prevent operating and maintenance problems.

**WARNING:** To reduce the risk of fire or electric shock, this apparatus should not be exposed to rain or moisture and objects filled with liquids, such as vases, should not be placed on this apparatus.

**CAUTION:** To prevent electric shock, fully insert the plug. (For regions with polarized plugs: To prevent electric shock, match wide blade to wide slot.)

### Important Safety Instructions

- ① Read these instructions.
- ② Keep these instructions.
- ③ Heed all warnings.
- ④ Follow all instructions.
- ⑤ Do not use this apparatus near water.
- ⑥ Clean only with dry cloth.
- ⑦ Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer's instructions.

- ⑧ Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.
- ⑨ Protect the power cord from being walked on or pinched, particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the apparatus.
- ⑩ Only use attachments/accessories specified by the manufacturer.
- ⑪ Use only with the cart, stand, tripod, bracket, or table specified by the manufacturer or sold with the apparatus. When a cart is used, use caution when moving the cart/apparatus combination to avoid injury from tip-over.



- ⑫ Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.
- ⑬ Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the apparatus has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the apparatus, the apparatus has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.
- ⑭ Battery usage **CAUTION** – To prevent battery leakage which may result in bodily injury, property damage, or damage to the unit:
  - Install all batteries correctly, + and - as marked on the unit.
  - Do not mix batteries (old and new or carbon and alkaline, etc.).

- Remove batteries when the unit is not used for a long time.

- ⑮ **Apparatus shall not be exposed to dripping or splashing.**
- ⑯ **Do not place any sources of danger on the apparatus (e.g. liquid filled objects, lighted candles).**
- ⑰ **Where the MAINS plug or an appliance coupler is used as the disconnect device, the disconnect device shall remain readily operable.**



### Warning

- Never remove the casing of this apparatus.
- Never lubricate any part of this apparatus.
- Never place this apparatus on other electrical equipment.
- Keep this apparatus away from direct sunlight, naked flames or heat.
- Ensure that you always have easy access to the power cord, plug or adaptor to disconnect the apparatus from the power.

---

## Hearing safety

### Listen at a moderate volume.

- Using headphones at a high volume can impair your hearing. This product can produce sounds in decibel ranges that may cause hearing loss for a normal person, even for exposure less than a minute. The higher decibel ranges are offered for those that may have already experienced some hearing loss.
- Sound can be deceiving. Over time your hearing 'comfort level' adapts to higher volumes of sound. So after prolonged listening, what sounds 'normal' can actually be loud and harmful to your hearing. To guard against this, set your volume to a safe level before your hearing adapts and leave it there.

### To establish a safe volume level:

- Set your volume control at a low setting.

- Slowly increase the sound until you can hear it comfortably and clearly, without distortion.

### Listen for reasonable periods of time:

- Prolonged exposure to sound, even at normally 'safe' levels, can also cause hearing loss.
- Be sure to use your equipment reasonably and take appropriate breaks.

### Be sure to observe the following guidelines when using your headphones.

- Listen at reasonable volumes for reasonable periods of time.
- Be careful not to adjust the volume as your hearing adapts.
- Do not turn up the volume so high that you can't hear what's around you.
- You should use caution or temporarily discontinue use in potentially hazardous situations. Do not use headphones while operating a motorized vehicle, cycling, skateboarding, etc.; it may create a traffic hazard and is illegal in many areas.

---

## Notice



This product complies with the radio interference requirements of the European Community.

Any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Philips Consumer Lifestyle may void the user's authority to operate the equipment.



Your product is designed and manufactured with high quality materials and components, which can be recycled and reused.



When this crossed-out wheeled bin symbol is attached to a product it means that the product is covered by the European Directive 2002/96/EC.

Please inform yourself about the local separate collection system for electrical and electronic products.

Please act according to your local rules and do not dispose of your old products with your normal household waste. Correct disposal of your old product helps to prevent potential negative consequences for the environment and human health.



Your product contains batteries covered by the European Directive 2006/66/EC, which cannot be disposed with normal household waste. Please inform yourself about the local rules on separate collection of batteries because correct disposal helps to prevent negative consequences for the environmental and human health.

### Environmental information

All unnecessary packaging has been omitted. We have tried to make the packaging easy to separate into three materials: cardboard (box), polystyrene foam (buffer) and polyethylene (bags, protective foam sheet.)

Your system consists of materials which can be recycled and reused if disassembled by a specialized company. Please observe the local regulations regarding the disposal of packaging materials, exhausted batteries and old equipment.



“Made for iPod,” “Made for iPhone,” and “Made for iPad” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.

iPod and iPhone are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iPad is a trademark of Apple Inc.

### Class II equipment symbol:



CLASS II apparatus with double insulation, and no protective earth provided.



#### Note

- The type plate is located at the rear of the apparatus.

### Norge

Typeskilt finnes på apparatens underside.

Observer: Nettbryteren er sekundert innkopleet. Den innebygde nettdelen er derfor ikke frakopleet nettet så lenge apparatet er tilsluttet nettkontakten.

For å redusere faren for brann eller elektrisk støt, skal apparatet ikke utsettes for regn eller fuktighet.

## 2 Your Docking Entertainment System

Congratulations on your purchase, and welcome to Philips! To fully benefit from the support that Philips offers, register your product at [www.philips.com/welcome](http://www.philips.com/welcome).

---

### Introduction

With this unit, you can enjoy audio from iPod, iPhone, iPad, radio, or other audio devices. The radio, iPod, iPhone, or iPad can be set as the alarm timer. You can set two alarm timers to go off at different time.

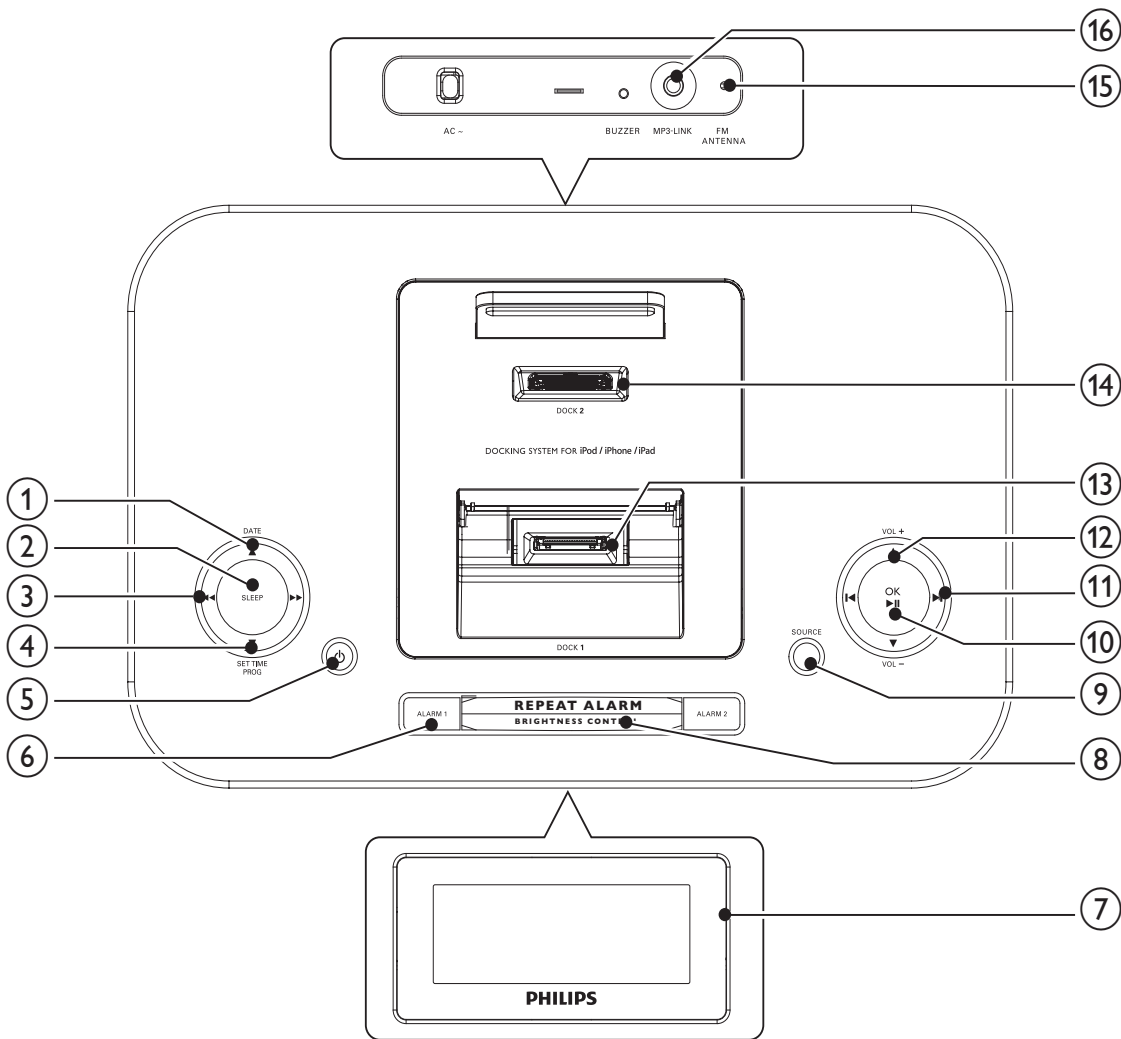
---

### What's in the box

Check and identify the contents of your package:

- Main unit
- Remote control
- 1 x MP3 link cable
- User manual
- Rubber pad for iPad

# Overview of the main unit

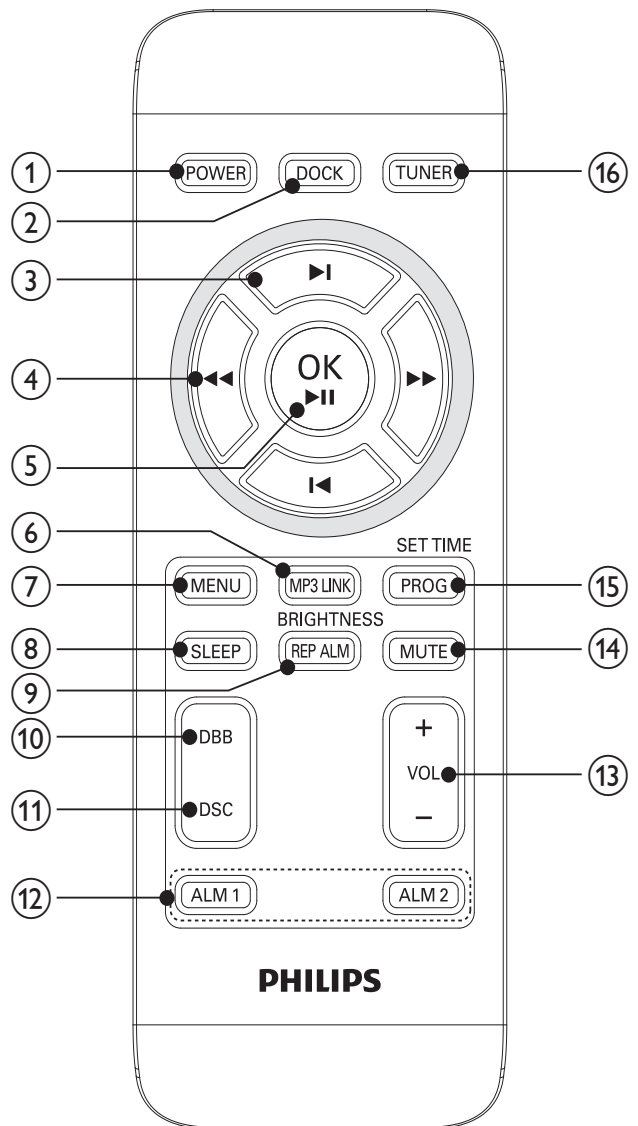


- ① ▲/DATE
  - View the clock time and date.
- ② SLEEP
  - Set the sleep timer.
- ③ ◀▶
  - Search within an audio file.
  - Tune to a radio station.
- ④ ▼/SET TIME/PROG
  - Set the clock and date.
  - Program radio stations.
- ⑤ ⏻
  - Turn on the unit or switch to standby mode.
  - Deactivate the sleep timer.
  - Stop alarm.
- ⑥ ALARM 1/ALARM 2
  - Set the alarm timer.
  - Turn off the alarm tone.
  - View alarm settings.
- ⑦ Display panel
  - Show the status.
- ⑧ REPEAT ALARM/BRIGHTNESS CONTROL
  - Repeat the alarm.
  - Adjust the display brightness.
- ⑨ SOURCE
  - Select a source: DOCK 1, DOCK 2, FM tuner, or MP3 link.



- ⑩ **OK/▶||**
  - Start or pause iPod/iPhone/iPad play.
  - Confirm selection.
  - Select FM stereo or FM mono.
- ⑪ **◀▶**
  - Skip to the previous/next audio file.
  - Select a preset radio station.
  - Adjust time.
- ⑫ **VOL +/-**
  - Adjust volume.
- ⑬ **Dock1**
  - Load an iPod/iPhone.
- ⑭ **Dock2**
  - Load an iPod/iPhone/iPad.
- ⑮ **FM antenna**
  - Improve FM reception.
- ⑯ **MP3-LINK**
  - Jack for an external audio device.

## Overview of the remote control



- ① **POWER**
  - Turn on the unit or switch to standby mode.
  - Stop alarm.
  - Deactivate the sleep timer.
- ② **DOCK**
  - Select Dock1 or Dock2 source.

- ③ **⏮️/⏭️**
  - Skip to the previous/next audio file.
  - Select a preset radio station.
  - Navigate through the iPod/iPhone/iPad menu.
  - Adjust time.
- ④ **⏪️/⏩️**
  - Search within an audio file.
  - Tune to a radio station.
- ⑤ **OK/⏸️**
  - Start or pause iPod/iPhone/iPad play.
  - Confirm selection.
  - Select FM stereo or FM mono.
- ⑥ **MP3 LINK**
  - Select external audio device source.
- ⑦ **MENU**
  - Select the iPod/iPhone menu.
- ⑧ **SLEEP**
  - Set the sleep timer.
- ⑨ **BRIGHTNESS/REP ALM**
  - Adjust the display brightness.
  - Repeat the alarm.
- ⑩ **DBB**
  - Turn on or off dynamic bass enhancement.
- ⑪ **DSC**
  - Select a preset sound setting.
- ⑫ **ALM 1/ALM 2**
  - Set the alarm timer.
  - Turn off the alarm tone.
  - View alarm settings.
- ⑬ **VOL +/-**
  - Adjust volume.
- ⑭ **MUTE**
  - Mute volume.
- ⑮ **SET TIME/PROG**
  - Set the clock and date.
  - Program radio stations.
- ⑯ **TUNER**
  - Select the tuner source.

## 3 Get started



### Caution

- Use of controls or adjustments or performance of procedures other than herein may result in hazardous radiation exposure or other unsafe operation.

Always follow the instructions in this chapter in sequence.

If you contact Philips, you will be asked for the model and serial number of this apparatus. The model number and serial number are on the bottom of the apparatus. Write the numbers here:

Model No. \_\_\_\_\_

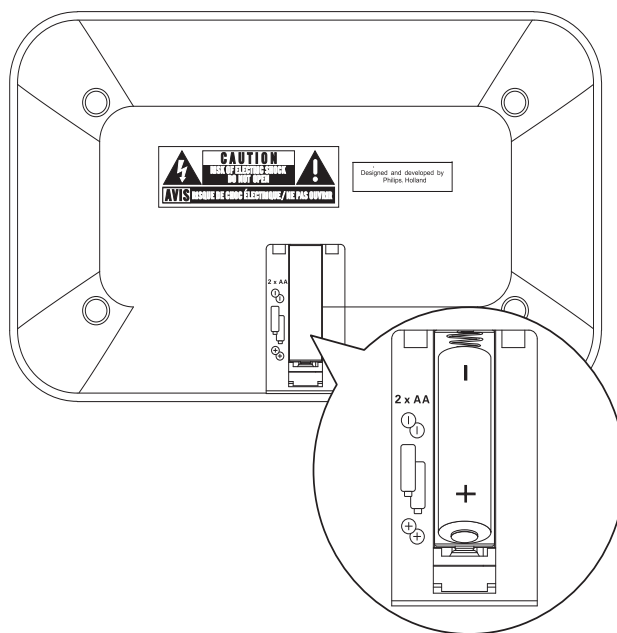
Serial No. \_\_\_\_\_

## Install batteries



### Note

- You can only use AC power as power supply. Batteries (not supplied) are for backup purpose.



- 1 Open the battery compartment.
- 2 Insert 2 x R6/UM-3/AA size batteries with correct polarity (+/-) as indicated.
- 3 Close the battery compartment.



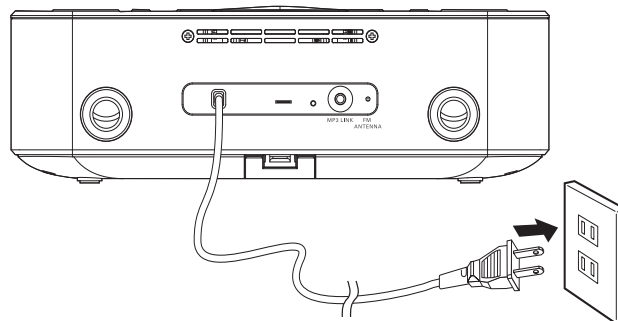
#### Caution

- Remove battery if it is exhausted or will not be used for a long time.
- Batteries contain chemical substances, so they should be disposed of properly.
- Perchlorate Material-special handling may apply. See [www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate](http://www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate).



#### Note

- The type plate is located on the bottom of the main unit.



## Prepare the remote control



#### Caution

- Risk of explosion! Keep batteries away from heat, sunshine, or fire. Never discard batteries in fire.

- 1 Open the battery compartment.
- 2 Insert one button battery with correct polarity (+/-) as indicated.
- 3 Close the battery compartment.



#### Note

- If you are not going to use the remote control for a long time, remove the batteries.

- 1 Connect the AC power cord to the wall outlet.

## Set time and date

- 1 In standby mode, press and hold **SET TIME** for two seconds.  
↳ The hour digits begin to blink.
- 2 Press **▶||** to select the 12/24 hour format.
- 3 Press **◀▶** to set the hour.
- 4 Press **SET TIME** to confirm.  
↳ The minute digits begin to blink.
- 5 Repeat steps 3-4 to set the minute, year, month, and day.



#### Tip

- In 12 hour format, [MONTH--DAY] is displayed.
- In 24 hour format, [DAY--MONTH] is displayed.

## Connect power



#### Caution

- Risk of product damage! Ensure that the power voltage corresponds to the voltage printed on the back or underside of the apparatus.
- Risk of electric shock! When you unplug the AC power cord, always pull the plug from the socket. Never pull the cord.
- Before connecting the AC power cord, ensure you have completed all other connections.

---

## Turn on

- 1 Press **POWER**.
  - ↳ The unit switches to the last selected source.

---

## Switch to standby

- 1 Press **POWER** again to switch the unit to standby mode.
  - ↳ The time and date (if set) appear on the display panel.

# 4 Play

---

## Play from iPod/iPhone/iPad

You can enjoy audio from iPod/iPhone/iPad through this unit.

---

### Compatible iPod/iPhone/iPad

Apple iPod and iPhone models with a 30-pin dock connector.

Made for:

- iPod 4G
- iPod 5G
- iPod photo
- iPod nano (6th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (1st generation)
- iPod Classic
- iPod Touch (4th generation)
- iPod Touch (3rd generation)
- iPod Touch (2nd generation)
- iPod Touch (1st generation)
- iPod Mini
- iPhone
- iPhone 3G
- iPhone 3GS
- iPhone 4
- iPad
- iPad 2



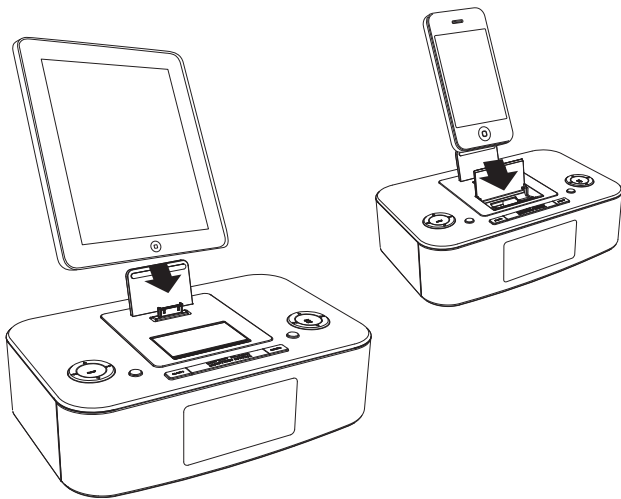
#### Note

- iPod with color display, iPod classic, and iPod with video are not compatible with dock charging.

---

## Listen to the iPod/iPhone/iPad

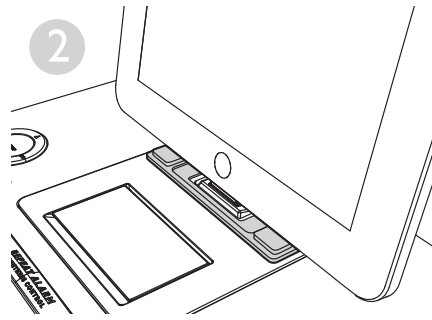
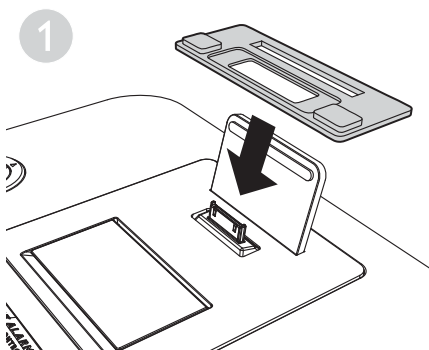
- 1 Press **DOCK** key to select dock source.
- 2 Place the iPod/iPhone/iPad into the dock.



- To pause/resume play, press **OK/▶||**.
- To skip to a track, press **◀▶**.
- To search during play, press and hold **◀▶▶▶**, then release to resume normal play.
- To go back to the previous iPod/iPhone menu, press **MENU**.
- To scroll through the menu, press **◀** / **▶**.
- To confirm a selection, press **OK/▶||**.  
↳ If no key is pressed for more than 10 seconds, **OK/▶||** acts back as the play/pause key.

## Install the rubber pad

If necessary, install the supplied rubber pad to keep the iPad 2 stable before you place the iPad 2.



## Charge the iPod/iPhone/iPad

When the unit is connected to power, the docked iPod/iPhone/iPad begins to charge.



- For certain iPod models, it may take up to a minute before the charging indication appears.
- If clock is not manually set, when iPod/iPhone/iPad is connected, the clock radio synchronizes time from the iPod/iPhone/iPad automatically.

## Play from an external device

You can also listen to an external audio device through this unit.

- 1 Press **MP3 LINK** to select the MP3 link source.
- 2 Connect the supplied MP3 link cable to:
  - the **MP3 LINK** jack (3.5mm) on the back of the unit.
  - the headphone jack on an external device.
- 3 Start to play the device (see the device user manual).

# 5 Listen to radio

## Note

- Only FM radio reception is available on this unit.

---

## Tune to a radio station

## Tip

- Position the antenna as far as possible from TV, VCR or other radiation source.

## Note

- For optimal reception, fully extend and adjust the position of the antenna.

- 1 Press **TUNER** to select FM tuner.
- 2 Press and hold **◀▶▶** for more than 2 seconds.
  - ↳ [SRCH] (search) is displayed.
  - ↳ The radio tunes to a station with strong reception automatically.
- 3 Repeat step 2 to tune to more stations.
  - To tune to a weak station, press **◀◀** / **▶▶** repeatedly until you find optimal reception.

## Tip

- [STEREO] is default setting for tuner mode.
- Under tuner mode, you can press **OK** repeatedly to toggle between [STEREO] and [MONO], and the unit memorizes your setting even if you turn off the unit or turn to other sources.

---

## Program radio stations automatically

You can program a maximum of 20 preset radio stations.

- 1 In the tuner mode, press and hold **SET TIME/PROG** for more than 2 seconds to activate automatic program mode.
  - ↳ [AUTO] (auto) is displayed.
  - ↳ The unit automatically stores radio stations with sufficient signal strength..
  - ↳ The first programmed radio station is broadcast automatically.

---

## Program radio stations manually

You can program a maximum of 20 preset radio stations.

- 1 Tune to a radio station.
- 2 Press **SET TIME/PROG** to activate the program mode.
- 3 Press **◀▶** to select a number.
- 4 Press **SET TIME/PROG** to confirm.
- 5 Repeat the above steps to program other stations.

## Tip

- To overwrite a programmed station, store another station in its place.
- To select FM stereo or FM mono, press **OK**.

---

## Select a preset radio station

- 1 Press **◀▶** to select a preset number.

## 6 Other features

---

### Set the alarm timer

You can set two alarms which go off at different time.

- 1 Make sure that you have set the clock correctly. (See “Get started - Set time and date”).
- 2 Press and hold **ALM 1** or **ALM 2** for two seconds.  
↳ [AL 1] or [AL 2] begin to blink.
- 3 Press **SOURCE** on the top panel to select an alarm sound source: DOCK1, DOCK2, FM tuner, or buzzer.
- 4 Press **ALM 1** or **ALM 2**.  
↳ The hour digits begin to blink.
- 5 Press **◀▶** repeatedly to set the hour.
- 6 Press **ALM 1** or **ALM 2** to confirm.  
↳ The minute digits begin to blink.
- 7 Repeat steps 5-6 to set the minute.
- 8 Repeat steps 5-6 to select whether to ring alarm the whole week, on weekdays, or at weekend.
- 9 Repeat steps 5-6 to set the alarm volume.





#### Tip

- You can create a playlist in iTunes called “PHILIPS” and import it to your iPod/iPhone as alarm source.
- If no playlist is created in the iPod/iPhone or there is no song in the playlist, the unit will wake to songs in the iPod/iPhone.

---

### Activate and deactivate the alarm timer

- 1 Press **ALM 1** or **ALM 2** repeatedly to activate or deactivate the timer.  
↳ If the timer is activated, [ AL 1] or [ AL2] is displayed.

- ↳ If the timer is deactivated, [AL1] or [AL2] is displayed.

---

### Repeat alarm

- 1 When the alarm rings, press **BRIGHTNESS/REP ALM**.  
↳ The alarm repeats ringing minutes later.



#### Tip

- You can press **◀▶** to adjust the interval to repeat alarm.

---

### Stop alarm ring

- 1 When the alarm rings, press the corresponding **ALM 1** or **ALM 2**.  
↳ The alarm stops but the alarm settings remain.

---

### View the alarm settings

- 1 Press **ALM 1** or **ALM 2**.

---

### Adjust display brightness

- 1 Press **BRIGHTNESS/REP ALM** repeatedly to select different levels of display brightness.

# 7 Adjust sound

---

## Adjust volume level

- 1 During play, press **VOL +/-** to increase/decrease the volume level.

---

## Mute sound

- 1 During play, press **MUTE** to mute/unmute sound.

---

## Select a preset sound effect

- 1 During play, press **DSC** repeatedly to select:
  - **[ROCK]** (rock)
  - **[JAZZ]** (jazz)
  - **[POP]** (pop)
  - **[CLASSIC]** (classic)
  - **[FLAT]** (flat)

---

## Enhance bass

- 1 During play, press **DBB** to turn on or off dynamic bass enhancement.
  - ↳ If DBB is activated, **[DBB]** is displayed.



# 8 Product information



## Note

- Product information is subject to change without prior notice.

---

## Specifications

---

### Amplifier

Rated Output Power	2 x 5 W RMS
Signal to Noise Ratio	67 dB
Aux Input (MP3 link)	750 mV RMS 20 kohm

---

### FM

Tuning Range	FM 76 - 90 MHz
--------------	----------------

---

### General information

AC power	100 V~, 50/60 Hz
Operation Power Consumption	17 W
Standby Power Consumption (clock display)	2 W
Dimensions	
- Main Unit (W x H x D)	263 x 114 x 165 mm
Weight	
- Main Unit	1.4 kg

# 9 Troubleshooting



## Warning

- Never remove the casing of this apparatus.

To keep the warranty valid, never try to repair the system yourself.

If you encounter problems when using this apparatus, check the following points before requesting service. If the problem remains unsolved, go to the Philips web site ([www.philips.com/welcome](http://www.philips.com/welcome)). When you contact Philips, ensure that the apparatus is nearby and the model number and serial number are available.

### No power

- Ensure that the AC power plug of the unit is connected properly.
- Ensure that there is power at the AC outlet.
- Ensure that the batteries are inserted correctly.

### No sound

- Adjust the volume.

### No response from the unit

- Disconnect and reconnect the AC power plug, then turn on the unit again.

### Poor radio reception

- Increase the distance between the unit and your TV or VCR.
- Fully extend the FM antenna.

### Timer does not work

- Set the clock correctly.
- Switch on the timer.

### Clock/timer setting erased

- Power has been interrupted or the power plug has been disconnected.
- Reset the clock/timer.

保証書と修理サービスについて  
(必ずお読みください)

## 保証と アフターサービス

### 〈保証書・最終ページに付属〉

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのと大切に保管してください。

保証 期間	お買い上げ日から1年間
----------	-------------

### 【補修用性能部品の最低保有期間】

- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 【ご不明な点や修理に関するご相談は】

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、フィリップスサポートセンターにお問い合わせください。

### 【修理を依頼されるときは】

- 修理をご依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度点検ください。尚、異常のあるときはご使用を中止し、お買い上げの販売店へご依頼ください。

### 【保証期間中は】

- 製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容により無料修理いたします。

### 【保証期間が過ぎているときは】

- 修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 【海外での本製品の保証及びアフターサービスについて】

- 本製品の保証は海外においても有効です。
- 日本国以外のフィリップスサービス部門においても保証期間内及び保証期間の経過後のアフターサービスを受けることができますが、この場合多少日数を要することもあります。
- 海外にてアフターサービスを受けられる場合は、現地のフィリップスサービス部門にお問い合わせください。尚、お困りの点がございましたら下記までご連絡ください。

Philips Consumer Lifestyle Service Department P.O.Box 20100 9200 CA DRACHTEN  
The Netherlands Fax:+31 51 259 2785

### 【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

- お受けしましたお客様の個人情報は、株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンのホームページ <http://www.philips.co.jp/> に掲載されている「お客様の個人情報の取り扱いについての当社の方針」に基づき適切に管理いたします。

便利メモ

お買い上げ日	年 月 日	お買い上げ店名	TEL. ( )
--------	-------	---------	----------

ご使用の時、このような症状はありませんか？

- 本体にさわると時々電気を感じる。
- こげくさい臭いがする。
- 電源コード部を動かすと通電したり、しなかったりする。
- その他の異常、故障がある。



このような症状の時は、故障や事故防止のため、電源コードをコンセントから外して、必ず販売店にご相談ください。

仕 様

品 番	DC390
電 源 方 式	交流式
消 費 電 力	17W (待機時消費電力2W)
定 格 電 圧	AC100V (50/60Hz)
本 体 質 量	約1.4kg
サ イ ズ	263(W)×114(H)×165(D) mm
定 格 出 力	2×5W
S N R	67dB
A U X I N	750mV 20kΩ
F M 受 信 周 波 数	76-90MHz

- フィリップス製品の修理受付はお買い上げの販売店にお申し出ください。
- 修理サービス等についておわかりにならないことは、下記にお問い合わせください。

お問い合わせ

フィリップスサポートセンター support.japan@philips.com	<b>0120-336-634</b>
---	---------------------

ホームページアドレス <http://www.philips.co.jp/>

フィリップス コンシューマー ライフスタイル事業部

日本販売代理店 **小泉成器株式会社** 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

## 無料修理規定

### 〈無料修理規定〉

- 1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理します。
- 2.保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と保証書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。なお、商品を直接メーカーへ送付した場合の送料等はおお客様の負担となります。
- 3.ご贈答、ご転居でお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合は、フィリップスサポートセンターにお問い合わせください。
- 4.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - ① 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - ② お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷。
  - ③ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
  - ④ 一般家庭以外(例えば、業務用の長時間使用)に使用された場合の故障及び損傷。
  - ⑤ 保証書の提示がない場合。
  - ⑥ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或は字句を書き換えられた場合。

※保証書は、本書に明示した条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはフィリップスサポートセンターにお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理・補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書の保証とアフターサービスの項目をご覧ください。

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書の控え)は保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございます。ご了承ください。また個人情報は、株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンのホームページ <http://www.philips.co.jp/>に掲載されている「お客様の個人情報の取り扱いについての当社の方針」に基づき適切に管理いたします。

フィリップス FMラジオドッキングスピーカー 保証書 持込修理

CERTIFICATE OF PURCHASE

この保証書は、「無料修理規定」記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた個人情報(保証書の控え)は、株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンのホームページ <http://www.philips.co.jp/> に掲載されている「お客様の個人情報の取り扱いについての当社の方針」に基づき適切に管理いたします。

品名	FMラジオドッキングスピーカー
品番	DC390
保証期間	お買い上げ日より1年
対象部分	本体
お買い上げ日	年 月 日
お客様	ご住所 〒
	ご芳名
	電話番号
★販売店	販売店名・住所・電話番号

- ★ 保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- ★ ご販売店様へ この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。贈答品、記念品の場合も含めて必ず記入捺印してお客様にお渡しください。

お問い合わせ

フィリップスサポートセンター  
support.japan@philips.com

**0120-336-634**

対応時間：平日10:00~18:00 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

- 東日本修理センター 〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190
- 西日本修理センター 〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号

日本販売代理店 小泉成器株式会社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7 TEL: 06-6262-3561